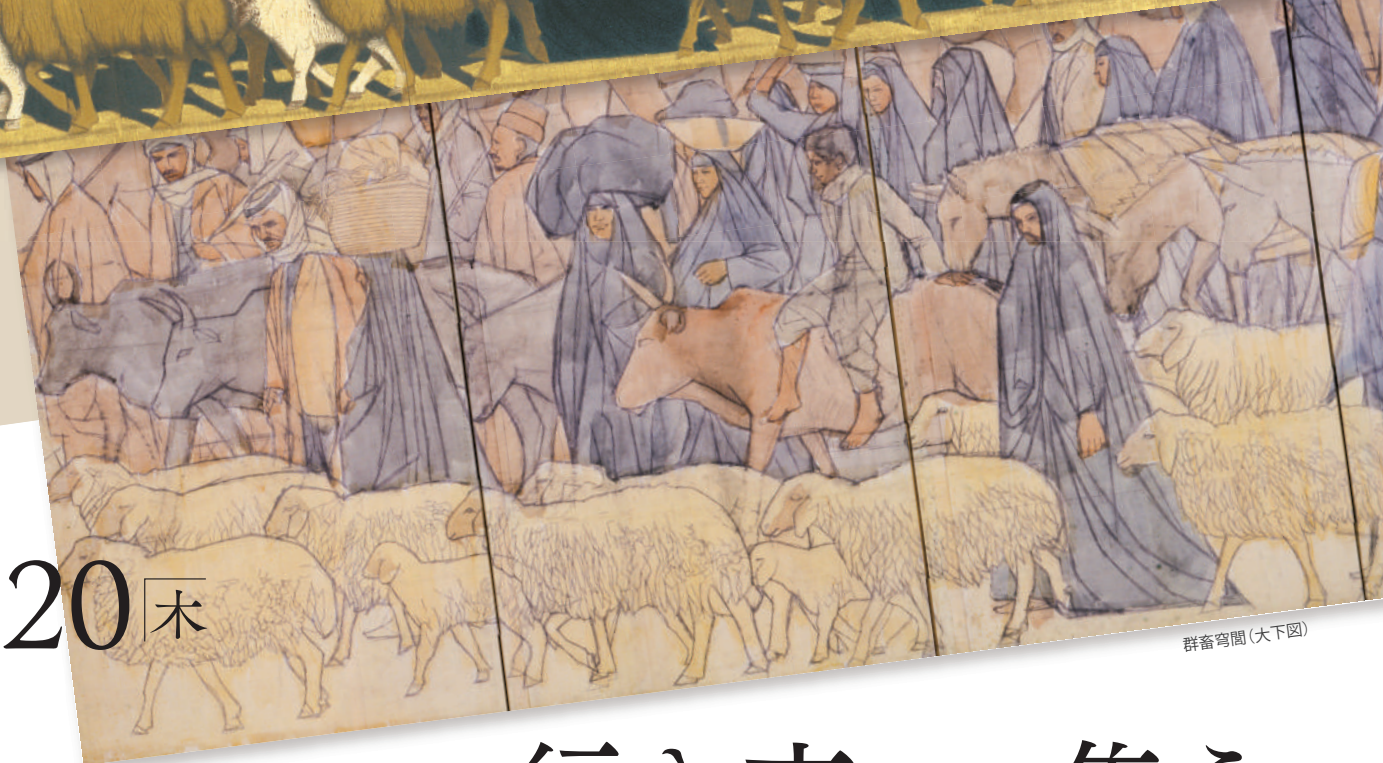


コレクショ展 2025—2026

群畜穹間 (1973 年 / 再興第 58 回院展)



令和7年

11.20 木

令和8年

3.11 水

行き交い、集う。

平山郁夫美術館
Hirayama Ikuo Museum of Art

〔開館時間〕

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

会期中無休

〔入館料〕

一般1000円、大高生500円、中小生300円

(10名以上の団体は一般900円、大高生400円、中小生200円)

〔主 催〕

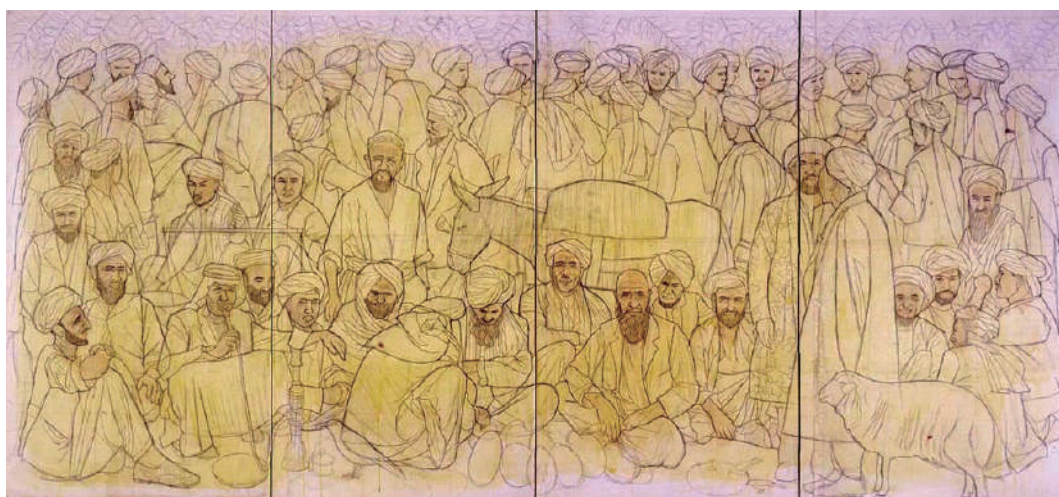
公益財団法人平山郁夫美術館

〔後 援〕

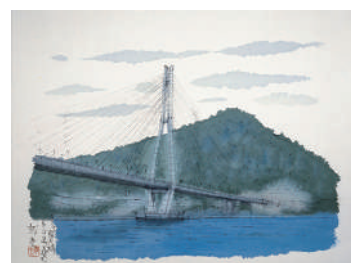
広島県、広島県教育委員会、
公益財団法人ひろしま文化振興財団、尾道市、
尾道市教育委員会、中国新聞備後本社、
尾道エフエム放送、エフエムふくやま



求法高僧東帰図(1964年)



中垂熱閤図(大下図/1971年)



上から

尾道新大橋を天寧寺より遠望(1999年)

多々羅大橋 生口島を望む(1999年)

大山祇神社 樹齢二千六百年(1999年)

来島大橋 馬島 今治(1999年)

本展では人々が行き交い集う様を描いた平山作品にスポットを当てます。人々の動きの細かな点が見える大下図を中心に展覧し、平山郁夫の線描をご覧ください。また、当館がある生口島に人々の行き交いを生み出しているしまなみ海道に注目し、全60点の「しまなみ海道五十三次」シリーズより30点を紹介します。

平山郁夫は文化の交流こそが平和の礎であると唱えました。行き交い集う人々、そして人々が行き交い集う場所、それらは平和の小さな原点なのかもしれません。当館に集いながらそれを感じていただければ幸いです。

